

令和6年度第1回景観審議会・自然環境保全審議会

議事録（公表版）

日 時 令和6年4月5日（金）
午後6時00分～7時45分
場 所 役場2階会議室

1 開 会

- ・審議委員の出席者数は5名であり、過半数を満たしているため、本会議は成立。
- ・出席者は別紙のとおり。
- ・事務局：観音課長、齊藤係長
- ・議案（1）の説明者として、当該施設の建築関係者が出席（以下、「説明者」と記載する。）。

2 あいさつ

京屋会長

3 議 案

（1）景観条例に基づく開発行為等協議案件について

・ホテル・ヴィラの建設

事務局）前回の会議において、提示資料では十分に審議できないとの指摘があり、今回、当該施設の建築関係者の出席のもと、詳細の説明を行っていただいた上で、改めて審議していただくもの。

説明者）※添付資料をもって説明

委員1）景観審議会では長年委員をしてるが、今回の案件は、開発の規模が大きく、今後の美瑛の開発にも影響してくることだと思うので、慎重に考えてきたところ。企業理念のすばらしさ、景観に対する取組、自然との調和は理解でき、素晴らしいことだと思う。美瑛に訪れる観光客は、丘と背景の山の調和が特に魅力だと感じていると聞く。丘と山の風景の中に不自然なものが写りこんでいると、観光客側からすると違和感が生じる。三愛の丘から旭岳を見るとき景色の中に今回予定する施設が入る可能性がある。さらに、カメラ愛好家は三愛の丘よりも当該施設に近い位置で旭岳を狙う。森林を一部伐採することだが、カラマツ林のピークを切ることになれば丘の一番高く見える位置が低くなるため、景観に違和感が生じる可能性がある。できれば、三愛の丘から見たときに、

丘のトップよりも低い位置に建物のてっぺんが来ると良いと思う。

説明者) 新たな施設は既存のオルテの丘の建物とほとんど同じ大きさの高さなので、丘のトップよりは低い。

委員2) 町内の多くのカラマツはもうすぐ切らなければならない時期が来ている。木を切った場合、現在と同様の高さまで育つまでの時間がかかる可能性がある。

委員1) 今生えているカラマツは樹齢がおよそ40年とすると、この場所もそろそろ寿命。美瑛町内では各所でカラマツが切られ始めている。

説明者) ここは民有林になるので、森林管理上の理由等では切ることは必ずしも無く、少なくとも皆伐することは無いと思われる。限界が来た木のみ切ることになるだろう。いただいた情報をオーナーに共有し、なるべく残す方法を探る。おそらく切った場所にはすぐに新たな木を植えることになるだろう。

委員3) 敷地内の最も高い場所に建物を建てる目的は、山と丘の景色を見るためか。

説明者) そのとおり。

委員3) 山側の景色を見るためということであれば、少し南寄りの低い位置に移す可能性はないか。

説明者) ヴィラに関しては、北側の景色を見るのが目的のため、できれば北側の端の位置に建設したい。

説明者) むやみに木を切るのではなく、建物を建てる場所だけ切り、北側から建物を見たときには、建物の多くは木に隠れ、完全に見える想定ではない。

委員1) お示しいただいた写真は三愛の丘をワイドで写したもので目立たないが、写真愛好家は望遠で撮影するので、そうすると存在感は出てくる。

前回、委員3から星の撮影をする方への配慮を求める話が出た。最近では高感度のカメラも気軽に手に入り、街灯などの明るさをかなり捨てる。そうすると三愛の丘から山の方を撮影し、天の川などを撮影する際、明るさが邪魔してしまう。

委員3) ヴィラ10棟分の明かりが写るとなると、星を撮影する人にとってはがっかりする写りになってしまう可能性が高い。このエリアの星景写真は旭岳から昇る天の川が魅力でもあった。

説明者) なるべく明かりが影響しないよう、夜のヴィラ内の照明はフットライト中心にするなど、配慮は可能かと思う。我々の一存では決めることはできないため、オーナーと相談する。オーナーは明るさへの配慮にも好意的な方。

委員3) 星空は美瑛の魅力の一つなので、配慮していただくとともに、宿泊者に対しても星空の魅力を感じてもらえるような取り組みを進めていただきたい。

説明者) オーナー曰く、美瑛の自然や星の魅力を感じて欲しいが、美瑛には泊まるところが足りていない、という考えのもとでこの建設計画が始まった。そのため、考えは委員の皆さんと一緒に思う。『夜の美瑛の魅力を守るためにも、遮光カーテンを閉めてください。』と宿泊者に協力を求めるのも方法の一つ。

事務局) 近隣の方との調整はどうなっているのか。

説明者) 北西の角の木は、隣接農家から切ってほしいと言われた。畑が影になる

ので、生育が悪いとのこと。

説明者) 隣接の農地を営農するのは●●さんと●●さん。先日、オーナーと訪問し協議した。結論としては、事業を協力してやっていこうという話になった。要望としては、グーグルマップの表示をしっかりとしてほしい(畑を訪問しないようにすること)、バスや車の誘導対策など。逆に農薬が宿泊施設方面に向かって風に流される可能性もあるが大丈夫か、という話があったが、オーナーは問題ないという回答。あとは、自分たちが農作業している様子を見られたくないので、塀を作ってほしい、という意見があったが、対応は難しい旨回答した。あとは、勝手に侵入することによるジャガイモシストセンチュウの心配。路上駐車によるトラクターの交通障害など。本施設は完全予約制なので、交通混雑はあまり心配ない。

委員3) 宿泊者は基本的には台湾人か。

説明者) そのとおり。

委員3) 来訪者が通るルートは美沢側・水沢側のどちらが主になるか。

説明者) 美沢からだ道が細くバスが回れないので、水沢からになる。

委員1) 農家さんがカラマツ林を切ってほしいと言った、という話があったが、実際にそのとおり切らなければ建設物が三愛の丘側から丸見えになると思うが、そうなった場合、どのように対応する方針か。

説明者) 現段階では、切らない方向で農家さんと話している。

説明者) 実際には木1本1本に対して、これを残す、これを切る、という作業が生じる。農家さんも絶対切ってほしいという話をしてはいたわけではない。場合によっては木の上の方だけを切って高さを落とす方法がある。

委員3) いままで観光客が頻繁に出入りするエリアではなかったもので、もし大人数が来た場合、想像もつかない被害が及ぶ可能性もある。そのようなことがないよう、オーナーには十分に気を使っていたきたいと思う。

委員4) 私は農家をやっているが、観光客が畑に勝手に入ってくることは実際にあり、非常に迷惑を被っている。美瑛に観光客が来てくれることはとても良いことなのは理解しているが…。もう少し時間をかけて検討してはいかがかと思っている。ちなみに、傾斜がある土地なので大雨が発生した際には水が流れるが、対応はどのように考えているか。

説明者) ゲリラ豪雨ほどの大雨を対処可能な設備を作るとしたら相当な規模になる。当該地に関しては、下手に川が走っており、町道を挟んで川に水が流れるので心配ないと思っている。

委員4) 承知した。傾斜の下、美沢まで下りると農家のトマトハウスがあるので、心配でお聞きした。

委員1) ここまで設計図が完璧にできあがっている、言いにくいものがあるが…。建物の建設位置を三愛の丘から見にくい位置まで下げてもらえるだけで解決するものでもある。例えば、丘の景色を見たい場合は、別で設けた木道などから見るような仕掛けづくりでも良いのではないかと、思う。

説明者) 検討する。

委員 5) 染物施設に関しては、水野染工場とは関係あるのか。

説明者) 別の事業者になるが、当施設のオーナーは協力体制を結びたいという意向を持っている。本施設に関しては、工場というよりは体験教室。

説明者) カフェを併設する予定で、散策したお客さんがカフェ・体験をあわせて楽しんでいただきたい。

委員 5) 他の問題点は光に関するところ。

説明者) 光に関しては、設計次第で考慮する余地がある。

事務局) 委員の皆さんの意見に対して、誠心誠意配慮していただき建設を実施していただきたいと思うが、委員各位におかれては問題ないか。

委員一同) 問題なし。

委員 1) 当該施設のお客さんが最大限に美瑛の景色を十分に楽しんでいただきたい。その際、その施設に泊まった方が自分たちの泊まったホテルを見て（風景を阻害するような形になってしまっていた場合）がっかりするようなことが無いように配慮していただきたい。オーナーさんも、自分の敷地内のことを考慮するだけではなく、全体的な目線で配慮していただきたい。

説明者) 現在、施設の概要を説明するための模型を作成している。住民説明会ではそちらもご覧いただけると思っている。

事務局) 景観条例上の規定に則り、建設の前段で地域住民向けの説明会を開催していただくようオーナー及び建設関係者の皆さんに指導させていただいた。地域説明会は5月10日（金）の夕方での開催を予定されており、場所は未定。地域とは今後詳細を詰められる、とのこと。詳細が確定次第、役場に情報共有いただく。委員の皆さんにも開催日等を案内させていただくので、是非ご出席されたい。

※説明者は退席

(2) 景観重要建造物及び景観重要樹木について

・ 赤い屋根の家付帯倉庫

※資料をもって事務局から説明

事務局) まずは、保存するとしたらどのような対処方が考えられるか、または費用感がわからないと検討できないため、雪解け後、建設事業者と現地を訪問し、作業見積もり等を行う。その後、所有者と協議の上、対応法を検討し、景観審議会にも報告させていただく。

委員 2) 付帯倉庫がなくなると寂しいのはその通り。

委員 5) 保存するための費用をクラウドファンディングで賄うのも方法の一つ。青い池駐車場の収益金もあるはず。

以前、赤い屋根のある小屋は建物が2つあったが、1つは風などの影響で倒壊した。1つになった当初は寂しい気持ちがあった。

委員 1) 残してもらえるのであれば残して欲しい。もし修繕したり建て直したりするのであれば、ピカピカの倉庫ではなく、素朴な雰囲気にして風情を残して

ほしい。

(3) その他

・カルビーポテト(株)美瑛支所敷地内のポプラの伐採について

事務局) 以前の審議会で伐採を承諾した後、現在まで伐採作業が進んでいない。
状況を同社に確認したところ、予算等の兼ね合いから作業が進んでいないとのこと。町からは、伐採するタイミングは任意だが、伐採しないことで周囲に危険が及ぶことのないように配慮願うことを申し伝えた。

委員一同) 承知。

4 閉 会

19:45 閉会